



メイプル材、アルダー材、セン材、マホガニー材などグレコのあらゆるモデルのボディ材がこうにして加工されボディとなるのを待っている。整然とレイアウトしてある屋内は通風性、通気性に満ちている。



ディタッチャブルモデルの塗装は素材の特徴を生かした技術が用いられる。アルダーボディ、センボディなどボディ材による木目の出かた、フィニッシュの違いなど、厳しいチェック、管理の後、はじめてパスとなる。



研究開発部門におけるピックアップのチェック。測定はサウンドをオシロシ高いものにするために必要不可欠なものだ。いくつものピックアップ測定、データを作成し、ピックアップのグレードアップを図っている。



研究開発部門での作業はそのほとんどが手作業によって行われる。ボディの微妙なシェイプ、ネックのアルなど実にデリケートなカーブは絶対にマシンでは出せないからだ。ここでのデータが製品に反映される。



ハニー・2トーンサンバーストが際立つ落ち着いたムード、SE1200。

ダイナミックな手応えがストレートに伝わるシングルコイル・ピックアップ。個性豊かなトーン・キャラクター、シャープでファンキーな感覚は『音』を重視したグレコの技術。

シングルコイルピックアップ

ピックアップのオーソドックスなスタイルを持っているのがシングルコイルタイプだ。1つのコイルと、マグネットポールピース、またはポールピースとマグネットから成っているシンプルな構造は、誕生当時から不変のスタイルであり、弦振動を忠実に再現してくれる。シングルコイルピックアップの特徴としてはよくシャープということばが使われる。高音域がよく伸び、切れ味の鋭いサウンドのイメージとしてはシャープということばがピッタリなのだが、やはり色々な細かいサウンドニュアンスとなるとシャープという事だけでは説明不足となってしまう。

サウンドキャラクターを明確に打ち出したグレコ・ピックアップ

シャープさの中に色あいを求める…これがグレコのシングルコイルピックアップ開発の中で大きくクローズアップされている。ただシャープということばだけでは表現しきれない、より幅のあるサウンドキャラクターを生み出し、それぞれのピックアップに大きな個性を与えているのだ。たとえばSE1200にセットし、『SQUEEZE』とネーミングしたピックアップはオールドの各データを細かく分析し、さらに、そのシンプルな構造の中に秘められたメカニカルテクニックまでも追求し、データのみでは再現しきれなかったシャープさの中にカラフルで味のあるエッセンスを盛り込んだサウンドとなっている。すぐにでもそのサウンドが飛び出して来そうな精悍なルックスのオリジナルピッ

クアップ『Baby Gang』。サウンドバランス、音の輪郭を向上させたバートタイプのマグネットポールピースをセットし、数多くの試作ピックアップから得たノウハウが生きている魅力あるサウンドはグレコがプロフェッショナルのニーズに応えて開発したものだ。シングルコイルピックアップの可能性を広げた『Baby Gang』サウンド!!

シングルコイルピックアップを生かすボディマテリアル

ボディ材はギターサウンドを大きく左右する。いくら優れているピックアップを使用しても、ボディ材とのマッチングが悪ければ、そのピックアップの本領は発揮できないのだ。オールドボディマテリアルとして良く知られているアルダー材、シングルコイルサウンドの特徴を良く生かし、暖かみを加えたサウンドとする素晴らしいボディマテリアルを持っている。グレコではSE1200、SE800、JB800、PB700に

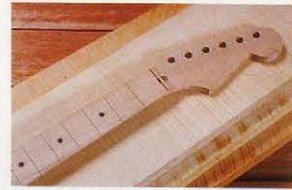
厳選したこのアルダー材を使用し、ヌケの良い、ストレートなシングルコイルサウンドを蘇らせている。もちろんライトウェイトなボディである事は絶対条件だ。シングルコイルピックアップとマッチングの良いボディマテリアルは他にも色々ある。ストレートに通った木目を生かしたフィニッシュに最適で、シングルコイルのサウンドを大きくイメージアップさせるセン材、堅く締まったサウンドキャラクターを生み出し、きめの細かいトーンニュアンスをクリエイトする、Thinボディのベースにマッチングの良いメイプル材、その強力な音の腰とうねるような躍動感をサウンドにプラスし、『Baby Gang』ピックアップにベストなマッチングが得られるマホガニー材などがそうだ。これらのマテリアルをピックアップとボディのマッチング、バランスにポイントを置いて使い分け、魅力あるトータルサウンドを生み出している筈だ。



寒冷地で育った木目の良く引き締まっている良質のセン材をボディ材として使用。自然乾燥、人工乾燥、シーズニングを経て最適な含水率に仕上げているこれらのボディ材は、素晴らしい響きを約束してくれる。



今や幻のボディ材となっているオリジナルオールドモデルに使用されているアルダーボディ材。グレコではこのボディ材を独自の基準で乾燥させ、ライトウェイトで、ふくらみ、ネバリのあるサウンドを生んでいる。



極めつけのフレームグレイメイプルネック材。厳しい条件下に育った稀少価値のフレームグレイメイプル材をネック材として加工した、グレコだからこそ成し得た最高のネックといえる。(SE1200に使用)



絶大なシールド効果と落ち着いた光沢のルックスが大きな特徴のアルミホワイトラッカー焼付けのピックアップ。薄くハードな仕上げにより、ピックアップを強力に固定し、引き締まったサウンドが得られる。



メイプルネック材はカナダより直輸入したハードメイプル材を使用。現地での自然乾燥、人工乾燥、工場での自然乾燥、人工乾燥を繰り返す。完成後の後工程でシーズニングを行い、狂いの無い安定したネックとしている。



ネック工程、ボディ工程と別々に流れていたディタッチャブルラインを1つにまとめるネックセット工程。熟練したクラフツマンカー本一本ボディ、ネックの具合を確かめながら作業を行い、ネックを固定して行く。



研究開発のために試作したいくつものピックアップ。コイルを変え、磁力を変え、マグネット材を変え、ポイントを変えて、いくつものデータを作成し、この後、多くのプロフェッショナルにヒアリングされる。



最終チェック工程で製作されたギター。ベースは全てチェックを受ける。ネック調整、サット調整、弦高調整、オクターブ調整、サウンドチェックなどが行われ、これにパスしたものがグレコとして世に出る。



ブッシュタイプ糸巻のポストを確実にホルドする2段加工。